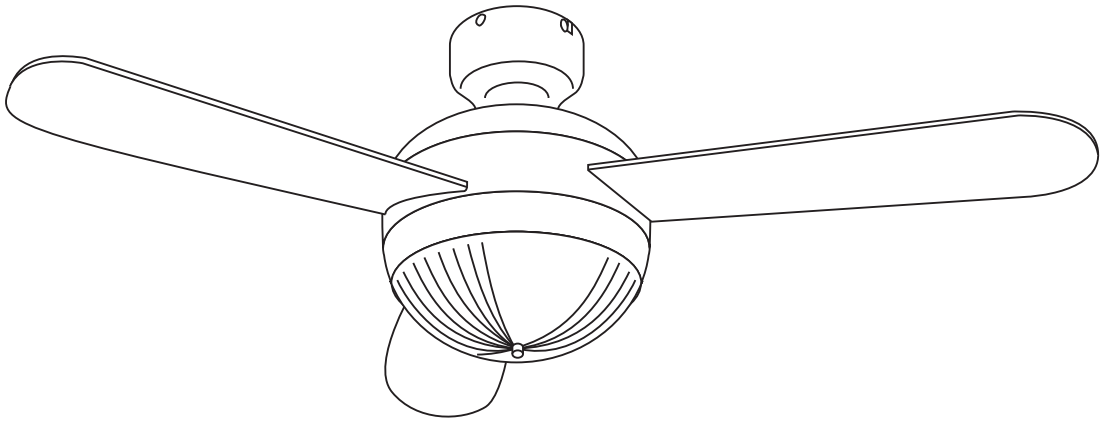
お客様の安全のためにご使用前に必ずお読みください

MEHVE ceiling fan light

取扱説明書



この度は当社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。 お客様の安全と、 当製品を末永くご利用頂く為、 ご使用前にこの取扱説明書を必ずご覧になり、 よくご理解いただいた上で正しくご使用ください。 また、 この取扱説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

天井の強度をご確認ください。

天井の補強工事が必要な場合がございます。 本取扱説明書をよくご確認ください。

廃棄する場合

本製品を使わなくなり廃棄する場合は、 お住まいの自治体のゴミの廃棄方法に従ってください。

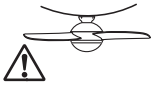
■はじめに

この度は当社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。お客様の安全と、当製品を末永くご利用頂く為、ご使用前にこの取扱説明書を必ずご覧になり、よくご理解いただいた上で正しくご使用下さい。

SAFETY INFORMATION この取扱説明書のマークについて

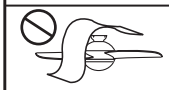
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が生じる事が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容および物質的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
⊘	このマークは、してはいけないことを表わしています。
△	このマークは、気をつける必要があることを表わしています。

⚠ 警告



器具を取り付ける天井の強度を確認し、重量に耐える場所に確実に行ってください。強度が不足している場合は補強工事をしてから取付けてください。

■ 器具落下によるケガの原因になります。■



器具や電球を布や紙、アルミ箔等で覆って使用しないでください。

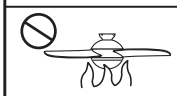
■ 火災、焼損、過熱、故障、変形の原因になります。■

点灯中及び消灯直後は器具及び電球が**高温**になっていますので素手で触らないでください。

■ やけどの原因になります。■

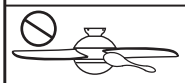
この器具は非防水です。湿気の多い場所や水のかかる場所、屋外（風呂場、テラス等）ではご使用になれません。

■ 火災、感電、絶縁不良の原因になります。■



器具のそばにストーブ等**高温**になるものを置かないでください。また燃えやすいもの（カーテン等）の近くで使用しないでください。

■ 火災、焼損、過熱、故障、変形の原因になります。■



器具のすきまに異物（金属類や燃えやすい物等）を差し込まないでください。

■ 火災、感電、絶縁不良の原因になります。■

⚠ 注意

⊘	**電気工事は電気工事店（有資格者）におまかせください。一般の方の工事は法律で禁じられています。**
△	**シェードの着脱、取付けは両手で静かに扱い、確実に行ってください。**
△	**器具に注意シールが貼付されている場合はその指示に従ってください。**
⊘	**電源コードを無理に引っぱったり、ねじったり曲げたりしないでください。**
⊘	**器具に着色等をしないでください。**
⊘	**器具を無理に回転させたり、引っぱったり、振動や衝撃を加えないでください。**
⊘	**器具を改造したり部品を追加、変更して使用しないでください。**
△	**器具から煙が出たり変な臭いがしたときは速やかに電源を切って販売店もしくは弊社までご相談ください。**
△	**ご使用後、廃棄される場合は清掃回収者への安全面に充分配慮して処理していただきますようお願いいたします。**

〈お手入れ方法〉

□必ず電源を切ってから行ってください。
□安全に使用していただくために、約6ヶ月ごとに清掃、点検を行ない、接合部のゆるみ及び器具に損傷がないかを確認してください。異常がありましたら使用せずに販売店、電気店にご相談ください。
□器具が汚れた場合は柔らかい布かまたは中性洗剤を含ませた柔らかい布をよく絞ってから軽く拭きとってください。
□シンナーやベンジン等の揮発性のもので拭いたり殺虫剤をかけたりしないでください。変質、故障の原因になります。
□器具を丸ごと水洗いしないでください。感電、焼損、サビの原因になります。

製品仕様

■屋内専用器具
■天井直付、簡易取付型
■電球付属（※）（E17 LED 電球 5W×3）
　※品番 001745 の場合付属
■点灯仕様（3 灯→2 灯→1 灯→OFF）
■風速（OFF→低速→中速→高速）
■調光器との併用不可
■傾斜天井、舟形天井への設置不可
■竿縁天井、格子型天井への設置不可

標準的な使用時間

当製品の設計上の標準使用期間は10年です。
製造年は本体に記載しております。
標準使用期間を超えてご使用される場合、熱、湿気、ほこり等の影響により、部品の劣化、天井部分の歪み等を原因とし、様々な不具合、発煙、発火にいたる場合がございますので、以下の様な症状がある場合は特に注意し、ご使用を見合わせてください。

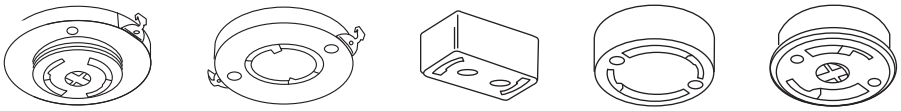
1.リモコンを操作してもファンが回転しない。
2.ファンの回転数が以上に遅い又は不規則である。
3.運転時のモーター音が異常に大きくなった。
4.モーター部分が異常に熱い。
5.異臭がする。
6.製品が異常に揺れるようになった。

標準使用期間は以下の条件を元に設定されています。
((社)日本電気工業会自主基準HD-116-3)

電圧	:100V
周波数	:50Hz/60Hz
温度	:30℃
湿度	:65%
設置	:取扱説明書に則した設置
負荷	:製品の企画に順ずる
運転時間	:10時間/日
運転回数	:5回/日
運転日数	:180日/年

※設計上の標準使用期間は製品の寿命目安です。
保証期間とは異なりますので予めご了承ください。
標準使用期間内であっても使用諸条件の相違により異常が発生した場合は、速やかに電源を切りご使用を控えてください。

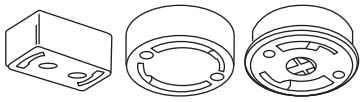
●天井の配線器具を確認してください。



埋込ローゼット　角型引掛シーリング　丸型引掛シーリング

いずれの器具もついていない場合は、 電気工事店に依頼して取付けてください。

⚠注意



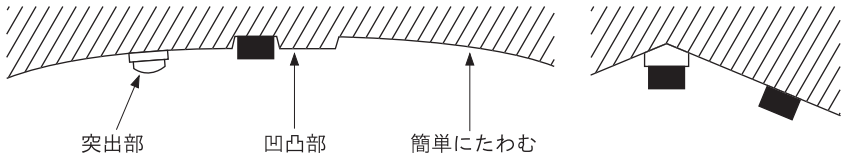
角型引掛シーリング　丸型引掛シーリング

このタイプの引掛シーリングでは、 本体を固定する為に天井に木ねじを打ち付けます。

取り付けの際は天井補強工事が必要な可能性がございます。
取扱説明書 P5[補強について] をご確認ください。

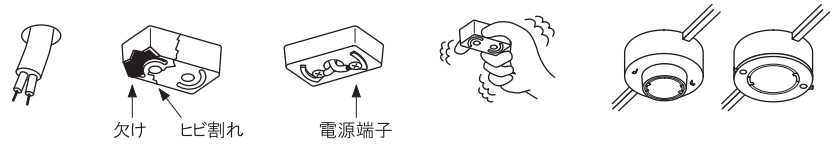
取付けできない天井

※火災・感電・落下によるけがの原因となります。



突出部のある天井・凹凸のある天井・簡単にたわむ天井　　変形天井・ななめ天井

下図の場合は電気工事店にご相談ください。



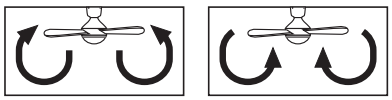
配線だけのもの　破損しているもの　電源端子露出タイプ　ガタつくもの　ケースウェイに取付いている

電気工事は電気工事士の資格が必要です。 工事は必ず電気工事店に依頼してください。

引掛シーリングはベニヤ板などの薄い天井材には取付けないでください。 器具が落下する恐れがあります。

ファンの操作方法 (サーキュレーター)

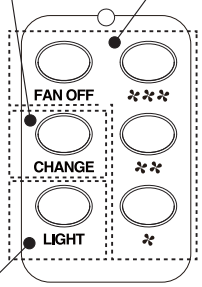
ファンの回転方向の切替



正転時 (▼▼▼) の風の流れ
冷房時にご使用ください

逆転時 (▲▲▲) の風の流れ
暖房時にご使用ください

回転方向を切替する場合は、ファンが回転をしている状態で切替ボタンを押して切替をして下さい。ファンが回転をしていない時に切替ボタンを押しても回転方向の切替は出来ません。



ファンの回転速度の切替

高速・中速・低速の回転速度の切替ができます。
FAN OFF スイッチにて停止します。
OFF にしても遠心力が加わっているため、 すぐには止まりません。

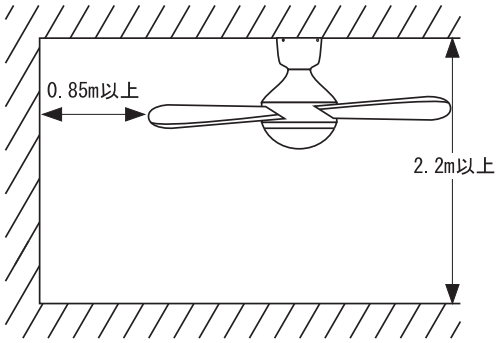
照明が 2 灯・1 灯・消灯の状態で壁面スイッチを OFF にした場合でも、 再度壁面スイッチを ON にすると照明は 3 灯が点灯します。

照明の切替

照明の切替ができます。
通電すると 3 灯が点灯し、 ボタンを押すことで、
[2 灯→1 灯→OFF→3 灯] と切替ができます。

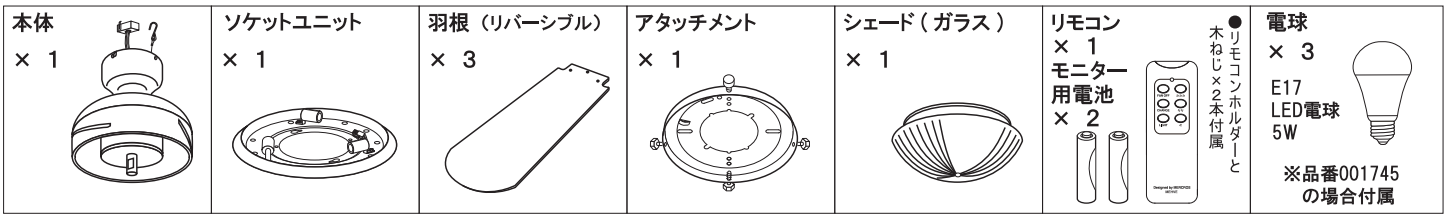
取付上のご注意

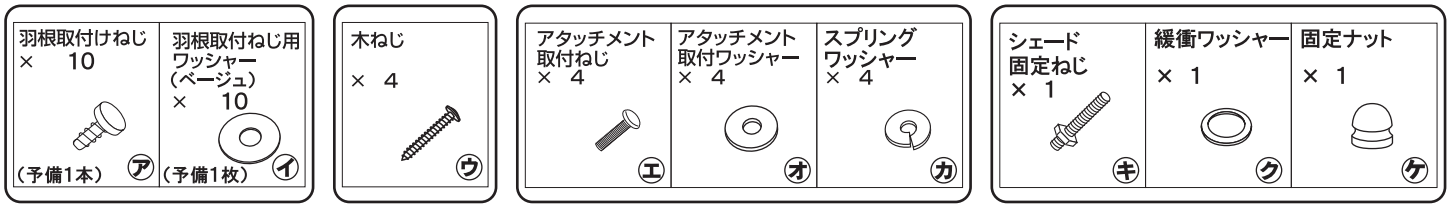
- ファンが回転している間は、羽根に絶対に触れないでください。ケガの恐れがあります。
- ファンの羽根は必ず３枚取付けて運転してください。回転が不安定となり、落下やケガの原因となります。
- 万一羽根を破損した場合は必ず３枚とも交換してください。破損した羽根だけを交換しますと、振動の原因となります。
- 羽根を回転させるためモーターを使用しておりますので、若干の音は発生しますが異常ではありません。ご使用中に異常振動や異常音が発生したらただちに使用を中止し、販売店へご相談ください。
- 壁付調光器のある回路では使用しないでください。
- ご使用の初期にはランプの熱により焼けたような臭いがする事がありますが、異常ではありません。
- 器具の取付位置は下図の寸法を参考に取付けてください。下図の寸法以下で取付けると器具の振動の原因になる場合があります。



部品一覧

※ねじ、 ワッシャー類は、 で囲まれた内容でひとつのビニール袋に梱包されています。

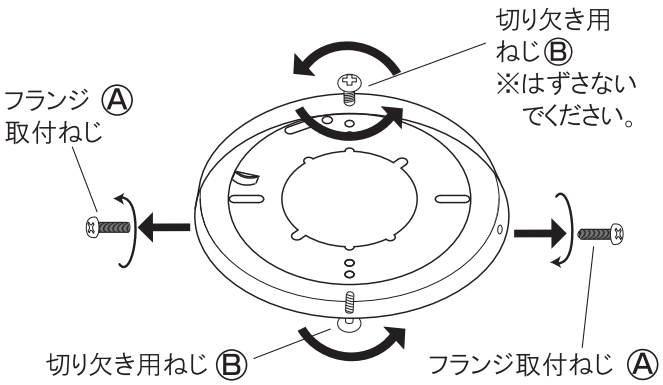




アタッチメントの取付け

1 取付ける前に

アタッチメントのフランジ取付ねじⒶ(2ケ所) をいったん
はずしてください。（※後で使用します。）
切り欠き用ねじⒷ(2ケ所) はそのままゆるめてください。

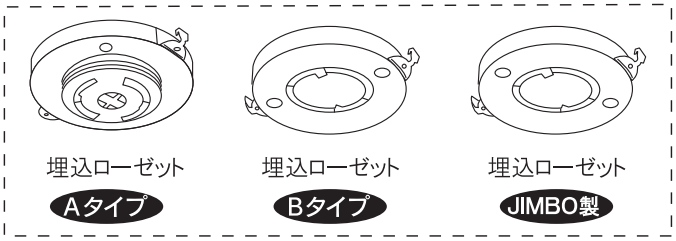


警告 ●ブレーカーを必ず切ってください。 感電の原因になることがあります。●取付け作業は安全確保の為、必ず2人以上で行ってください。

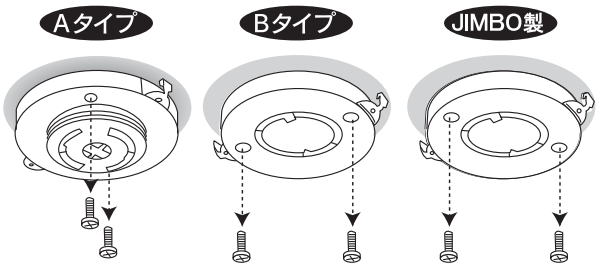
2 アタッチメントを配線器具に取付けてください。

**これらの配線器具の場合はドライバー (+)
1本で簡単に取付けが出来ます。
(なるべく大きめのドライバーをご使用ください。)**

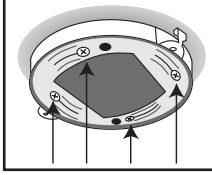
●埋込ローゼットの場合



1 まず、 ローゼットについているねじ2本をはずします。



ローゼットのねじ2本をはずします。

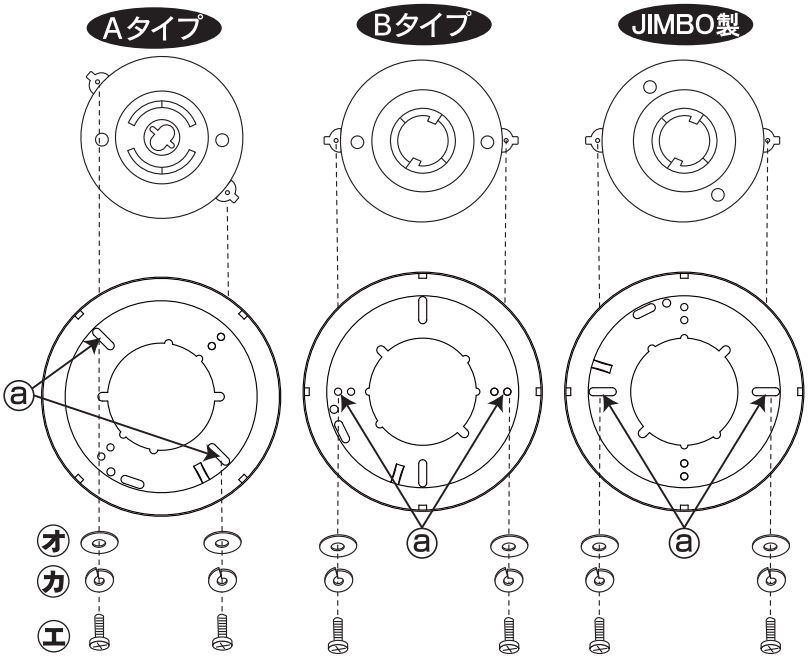


❶の作業の後、 一度ローゼットのふたを開け、 ローゼットの金具を天井に止めているねじがしっかり締まっていることを確認してください。 ねじがゆるい場合はしっかり締め直してください。 確認後は再度ふたを閉めてから❷以降の作業を行ってください。

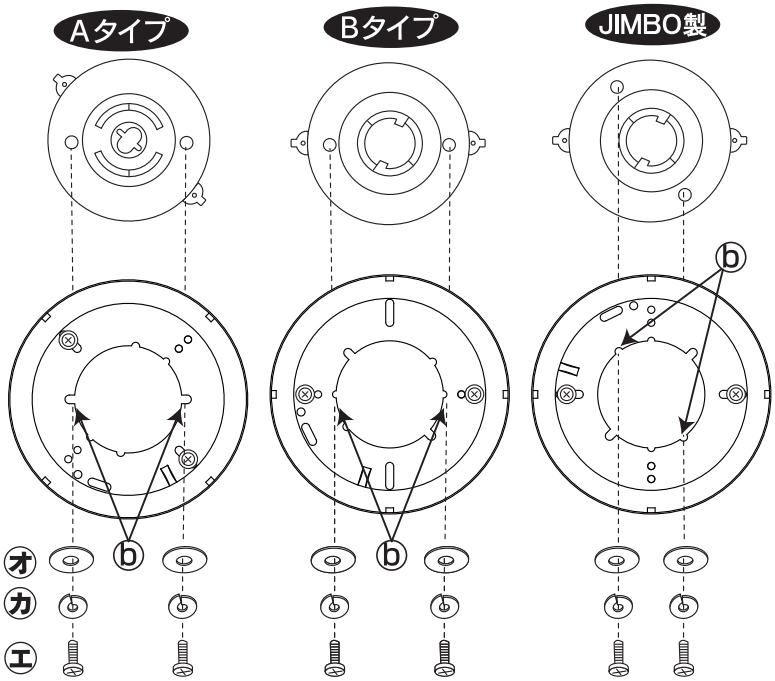
注 Bタイプ の埋込ローゼットでも Aタイプ とネジ穴位置が同じものは Aタイプ の取付方法で取り付けてください。

2 アタッチメント取付ねじ ㋓ を下図アタッチメントの ⓐ の穴を通し、 ローゼットの外側ねじ穴にねじ止めします。
(アタッチメント取付ワッシャー ㋔ 、 スプリングワッシャー ㋕ をはさんでください)

❶ではずしたローゼットのねじは無くさないよう保管してください。
㋓のねじでアタッチメントがうまく止まらない場合はローゼットのねじでのねじ止めを試してください。

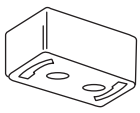


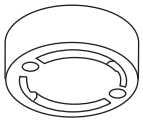
3 アタッチメント取付ねじ ㋓ をアタッチメントの下図 ⓑ の半円穴を通し、❶ ではずしたローゼットのねじ穴にねじ止めします。
(アタッチメント取付ワッシャー ㋔ 、 スプリングワッシャー ㋕ をはさんでください)



●角型・丸型　引掛シーリングの場合

これらの配線器具の場合は天井に穴を開けなければ取付けが出来ません。


角型引掛シーリング

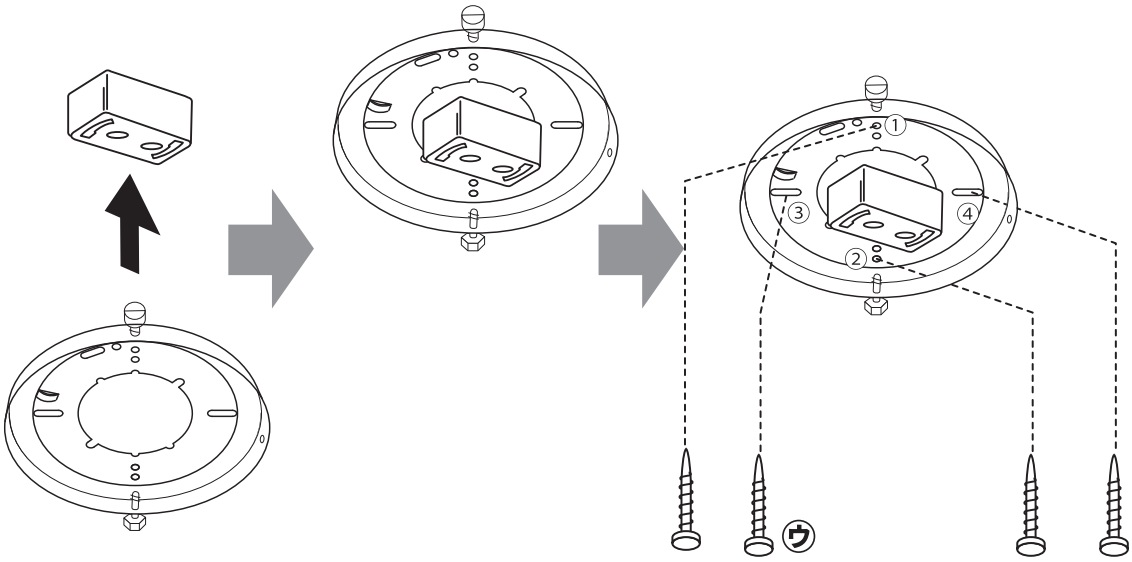

丸型引掛シーリング

丸型引掛シーリング

木ねじを使用する場合は、天井側の材質（石こうボードは不可）や受け木の有無などを確認してください。

① 引掛シーリングをアタッチメントの内穴に通します。

② 木ねじ㋒を使い、天井に直接ねじ止めします。①②③④ のように対角線の順番にしっかりとまっすぐ止めてください。



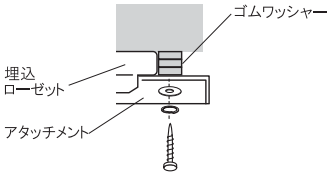
※説明図は角型引掛シーリングですが丸型も同じ要領で取付けてください。

❗補強について

実際に取付けてみてグラついたりして不安定な場合は木ねじで補強をしてください。

●埋込ローゼットの場合は、ローゼットねじのすぐ横の穴に対角線上に木ねじを取付けてください。

※このとき、付属のゴムワッシャーを天井とアタッチメントの隙間に応じて2～3枚、隙間スペーサーとしてご使用ください。



●シーリングの場合は、最初に取付けた木ねじのすぐ横の穴に対角線上に木ねじを取付けてください。

※天井の補強材部が十字に設置されている場合はローゼットや最初の木ねじに対して十字になるように木ねじで補強するとより安定します。
※どちらの場合も天井の補強材部があることを確認した上で木ねじを取付けてください。

●木ねじがすぐに抜けてしまうような天井には使えません。
・石こうボード・薄い板だけの天井に配線器具が取り付けられている場合。

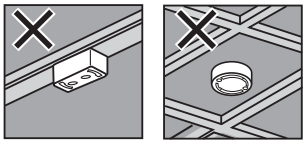
※天井の補強工事が必要です。

●木ねじを取付けて強く締めつけても空回りする場合は、補強材部に固定されていませんので必ず補強材部に固定するようにしてください。

●埋込ローゼットは基本的に天井の補強材部に取付けてあります。ローゼットの平行線上に木ねじを取付けると固定できます。

※必ず強度のある天井に取付けてください。

※図のような天井には取付けないでください。また傾斜天井や湾曲天井への取付けも出来ません。

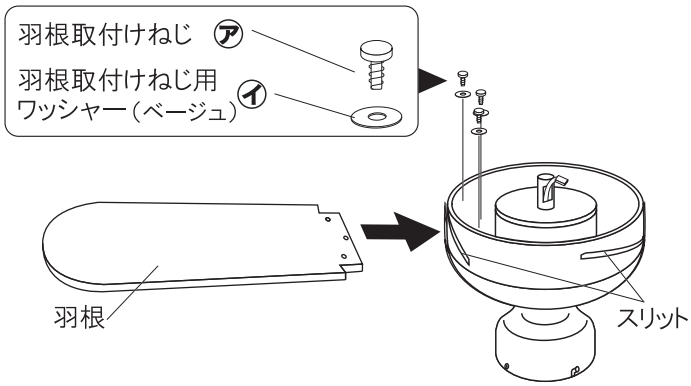


本体の取付け

⚠ **警告** 取付け作業は安全確保の為、必ず2人以上で行ってください。

1 羽根を取付けます。

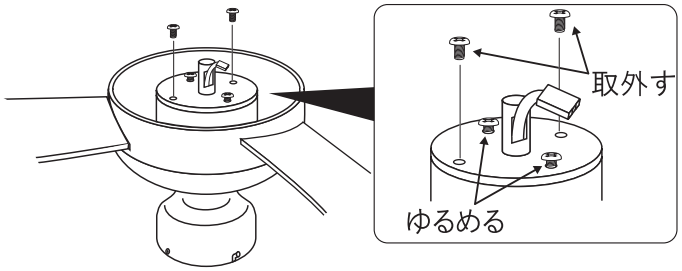
1 本体側面のスリットから羽根を図の向きに差し込み、ねじ穴に合わせます。羽根取付けねじ㋐を羽根取付ねじ用ワッシャー（赤色）㋑に通し、右に回してしっかりと羽根を固定します。



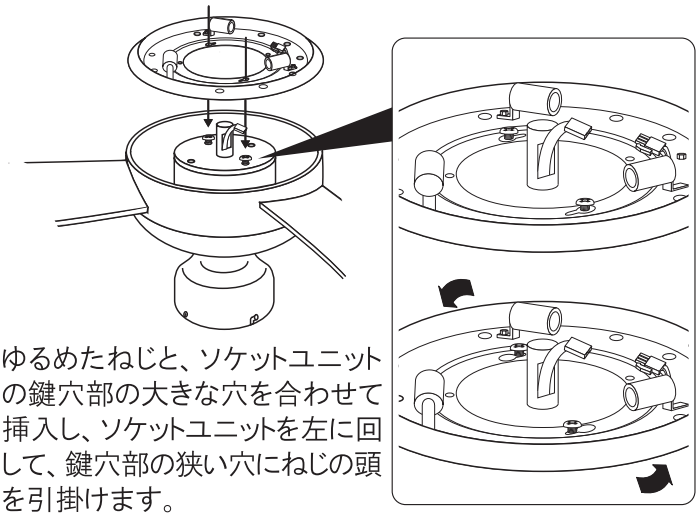
2 同じ要領で、残り2枚の羽根を取付けます。

2 ソケットユニットを取付けます。

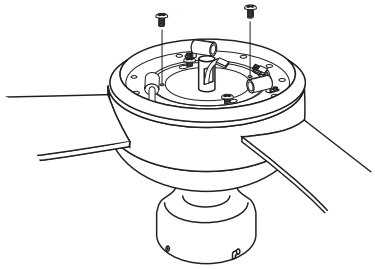
1 本体に取付いている4本のねじのうち、対角上の 2 本を取外し、もう 2 本をゆるめておきます。



2 ゆるめたねじとソケットユニットの鍵穴を合わせて取付けます。



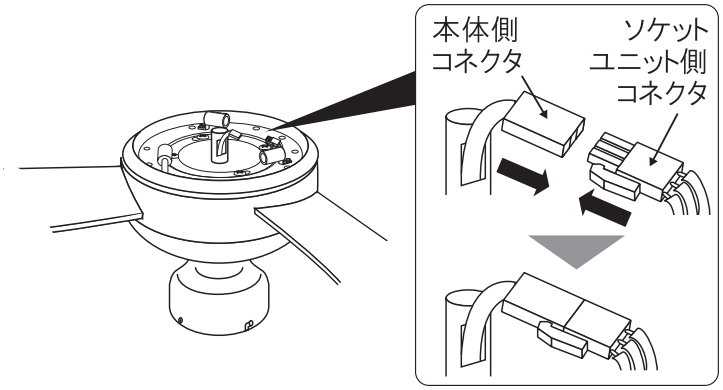
ゆるめたねじと、ソケットユニットの鍵穴部の大きな穴を合わせて挿入し、ソケットユニットを左に回して、鍵穴部の狭い穴にねじの頭を引掛けます。



ゆるめていたねじと、取外しておいたねじをすべて締め付けます。

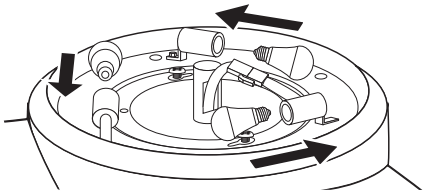
磁石付きのドライバーをご使用になると、締め付けが容易におこなえます。

3 本体のコネクタと、ソケットユニットのコネクタを接続します。カチッと音がするまで差し込みます。



3 LED 電球を取付けます。

ソケットに LED 電球を右回しに取り付けます。

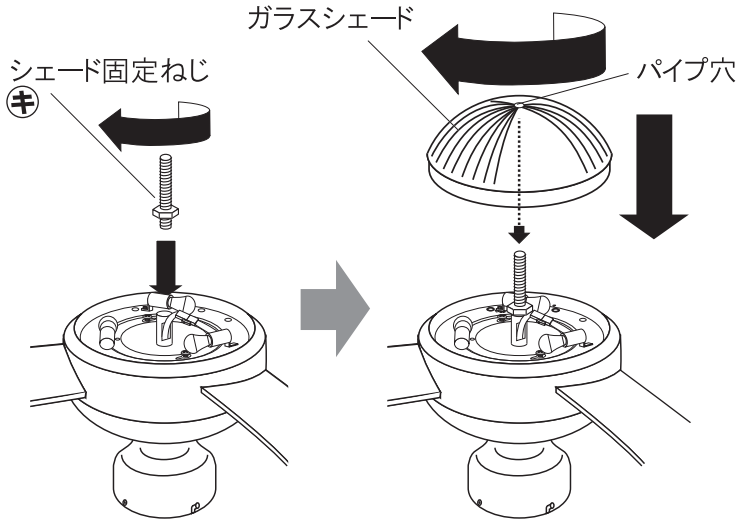


当器具は
LED 電球専用です。

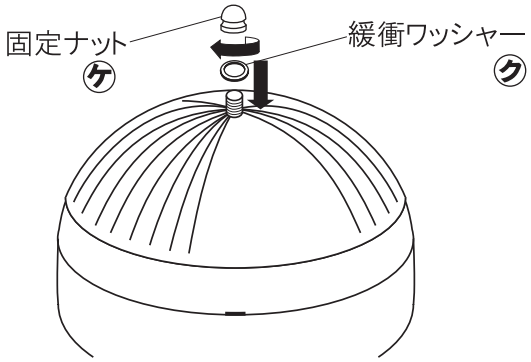
[使用電球]
E17 LED 電球
5W×3 灯

4 ガラスシェードを取付けます。

1 シェード固定ねじ ㋖ を図の向きに、本体中央のねじ部に締め込んで取付けます。ガラスシェード中央のパイプ穴からシェード固定ねじが出るようにガラスシェードをかぶせ、時計まわりにガラスシェードを回してしっかりと固定してください。

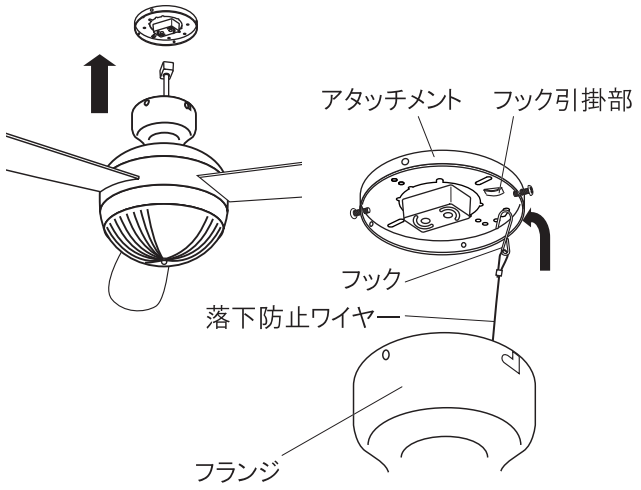


2 シェード固定ねじに緩衝ワッシャー㋗を通し、固定ナット㋘を回してガラスシェードを固定してください。



5 落下防止ワイヤーをアタッチメントに取付けます。

本体上部フランジ内にある落下防止ワイヤーのフックを
アタッチメントのフック引掛部に引っ掛けます。
ここからは、 羽根の取り扱いに十分に注意してください。

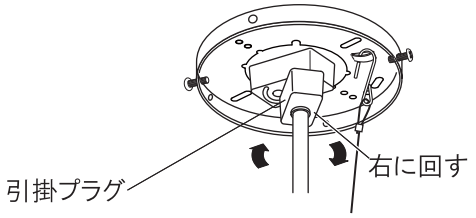


**※この段階で仮固定ができた状態にはなりますが、
手を離さないでください。 落下の危険があります。**

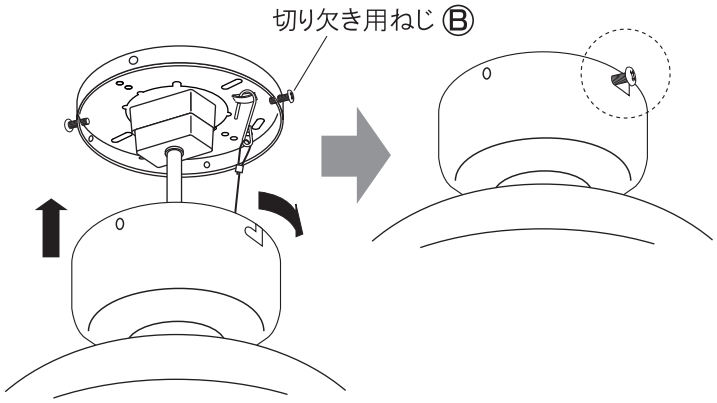
6 引掛プラグを取付けます。

本製品を取付けるお部屋の壁面スイッチを OFF にしてください。

1 引掛プラグを右に回して固定してください。

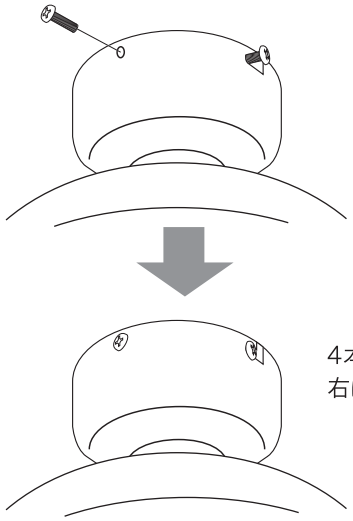


2 フランジの切り欠きをアタッチメントの切り欠き用ねじⒷ
に差し込み、 右に回してはめてください。



7 フランジを取付けます。

外しておいたフランジ取付けねじⒶ（2ケ所 ）を
フランジの穴に合わせて締め込みます。

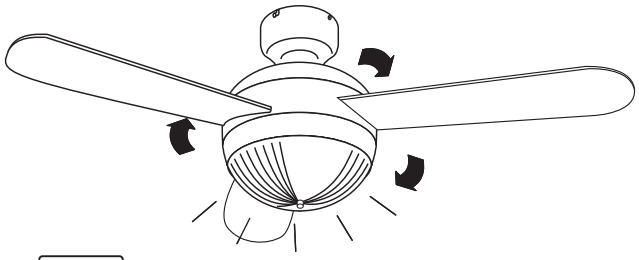


4本のねじをしっかりと
右に回して固定してください。

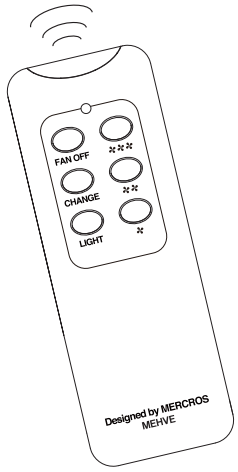
8 スイッチをいれ、 リモコン操作を確認します。

お部屋の壁面スイッチを ON にして、 リモコン操作
を行い点灯、 FAN の回転を確認してください。

【ご注意ください】
壁面スイッチを [ON] にした状態で、 リモコン操作をしてください。
壁面スイッチが [OFF] の状態ではご使用頂けません。



壁面スイッチを ON にする



**⚠ 落下防止の為、 各パーツが確実に接続
されているか再度点検の上ご使用ください。**